

技能・技術功勞士

伝統的な久留米絣を創作し
新たな世界を生み出す

久留米絣工 32年

(重要無形文化財久留米絣)

松枝哲哉工房

まつえだ

さよこ

松枝 小夜子さん
(60歳)

久留米絣技術保持者会会員(括り、織り)として、長年、夫の松枝哲哉さんと二人三脚で久留米絣を創り上げて来ました。人間国宝の松枝玉記さんから受け継いだ「絵絣」の伝統技法を守りつつ、現代の絣に挑戦し続けています。約30の工程に及ぶ久留米絣の手作業全てを一つの工房でこなします。伝統技術の保存と伝承の更なる発展のために田主丸町に「久留米絣工芸研究所」を開設。地元の小学校の総合学習において、藍栽培と「藍の生葉染め」「手織りの技術」を20年間指導。6年生の「手仕事による久留米絣の制作」が8年間継続されています。



第60回日本伝統工芸展
久留米絣着物「暁の旋律」松枝小夜子作